

－21 世紀の日本の労働組合活動に関する調査研究 I－
「非正規労働者の組織化」調査報告書

「21 世紀の日本の労働組合活動に関する調査研究委員会 I」(*主査)

*中村 圭介 (東京大学社会科学研究所教授) 橋元 秀一 (國學院大學経済学部教授)
龍井 葉二 (連合非正規労働センター総合局長) 岡田 孝敏 (連合非正規労働センター局長)
水谷 雄二 (連合非正規労働センター局長) 小島 輝信 (連合非正規労働センター次長)
杉山 寿英 (連合非正規労働センター部長) 山根 正幸 (連合非正規労働センター部長)

連合総研は、2007 年度より「21 世紀の日本の労働組合活動に関する調査研究委員会」を立ち上げ、労働組合の活動実態に着目し、今後の労働組合の実践的課題を明らかにすることを目的にシリーズ研究をスタートした。

初年度は、「組織戦略と非正規労働者－非正規労働者問題と労働組合活動に関する調査研究委員会」を研究テーマに設定し、2007 年 12 月に研究委員会を発足した。

本研究委員会では、非正規労働者の組織化に先進的に取り組んでいる 10 単組について、組織化を牽引した単組リーダーや組織化に直接もしくは事後的に関わった単組の活動家から、組織化に取り組んだきっかけや組織化方針を組合内部で合意した経過、実際に組織化に取り組んだ手法など、取り組みの背景・要因も含めて現場で単組が取り組んだ組織化の実践的手法について聞きとり調査を実施した。

本報告書は、聞きとり調査で得た成果を踏まえ、中村主査による「総論」、橋元副主査による「総括」に続いて、連合加盟の 10 単組についての具体的な取組事例を紹介している。事例紹介では、ヒアリング調査で明らかとなった単組が抱える組織化についての課題や悩み、課題をどう乗り越えたか、組織化後の組合の変化等に重点を置いてとりまとめを行った。

目次

はじめに

総論 非正規未組織労働者を取り込む

総括 非正規従業員の組織化をめぐる先進 10 事例のタイプと経験の示すこと

ヒアリング事例

第 1 章 職場をよくする イオンリテール労働組合

第 2 章 「カギは日常活動にあり」－組織化で支部活動が活性化 日本ハムユニオン

第 3 章 契約社員による、契約社員の組織化

ケンウッドグループユニオン (ケンウッド・ジオビット支部)

第 4 章 組合活動はストレス解消 市川市保育関係職員労働組合

第 5 章 「正規職員主義」からの転換と人的資源を活用した組織運営 八王子市職員組合

第 6 章 執行部が納得することから始まった サンデーサン労働組合

第 7 章 一人ひとりと対話した 小田急百貨店労働組合

第 8 章 格差是正に団結で挑む クノールブレムゼジャパン労働組合

第 9 章 先行事例の経験を活用 全矢崎労働組合

第 10 章 ユニオン・ショップ協定を前提とした契約社員制度の導入

私鉄中国地方労働組合 広島電鉄支部